

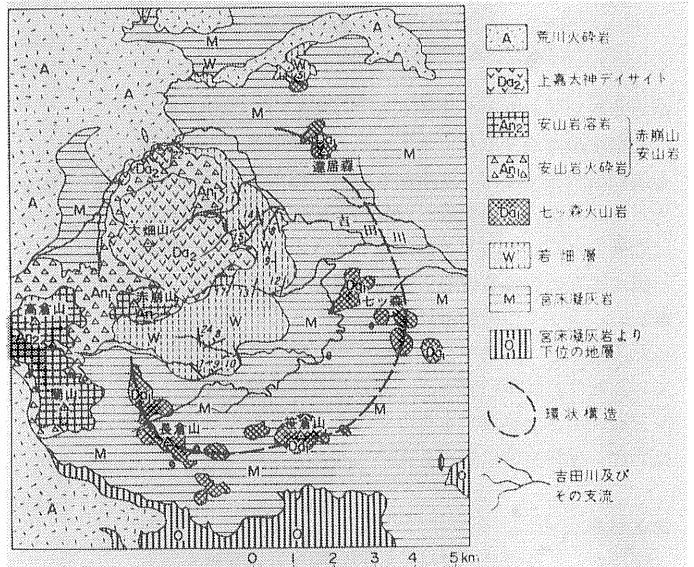
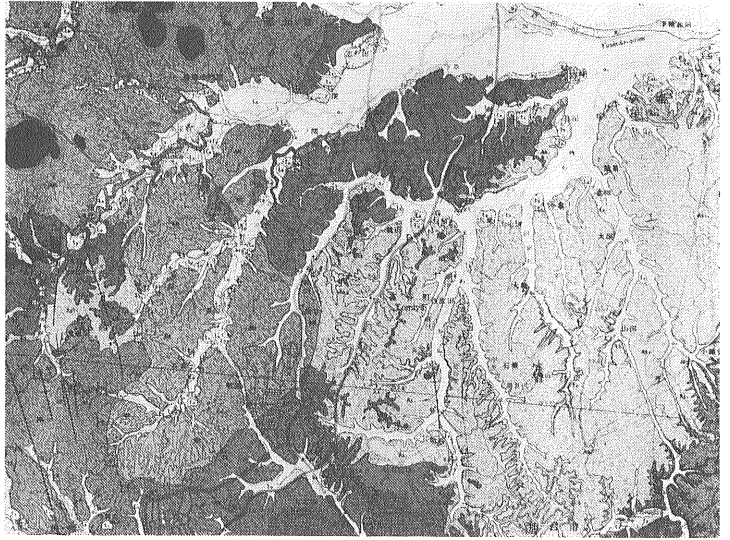
この地質図幅地域は 仙台市北方に位置し 大部分が丘陵地からなり 仙台市のベッド・タウンとして盛んに開発されている。吉岡地域の地質は新第三系及び第四系からなる。東北地方緑色凝灰岩地域のうちの北上川河谷地域に属しているので 火山岩よりも堆積岩が多く 火山岩も比較的変質されていない。

新第三系は15の地層に細分されていて 産出する化石が詳しく記載されている。そのうち2・3の例を挙げると 大堤層は産出する浮遊性有孔虫化石によってBlow(1969)のZone N. 12-14に位置している。この地層の年代は 中新世中期である。また 青麻層は Blow (1969) の Zone N. 16-17に対応し この地層の年代は 中新世後期である。

第四系は7の岩層に分けられている。そのうち段丘堆積物については 更に最高位から最低位の5つの段丘の堆積物に細分されている。

なお この図幅地域北西部から西隣の関山峠図幅地域に至る赤崩山一帯の地区で 鮮新世後期から更新世前期にかけて 次のような順序で湖成層の堆積及び火山岩の噴出が行われたと考えられている。すなわち 宮床凝灰岩の堆積末期に若畑一帯で陥没があり 湖成層が堆積した。この頃に環状の割れ目が生じ多数の溶岩円頂丘が噴出した。その後環状構造の北西寄りに赤崩山安山岩及び上嘉太神デイサイトを噴出したとしている。著者らは はっきり書いてないが 一種のカラデラ構造であろう。

この地質図幅地域付近では 古川図幅(1981)及び松島図幅(1982)が出版されており また最近塩釜図幅が印刷公表された。なお南隣の仙台図幅が現在調査中であり 2年後(昭和60年度)に出版の予定である。



5 万分の 1 地質図幅の新刊

吉 岡
YOSHIOKA

5 万分の 1 地質図幅 地域地質研究報告

著 者 北村信・大沢穠・中川久夫
 発 行 工業技術院 地質調査所
 取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,390円

地質ニュース	第354号	2 月 号
昭和59年2月1日	定 価 ￥ 540	干 実 費
編 集	昭 和	発 行
発 行人	林 久 雄	工業技術院地質調査所
発 行 所	株式会社 実業公報社	東京都千代田区九段南4の2の12
		Tel. (03)265-0951 (代表)
		振替口座 東京 1-32466
総発売元	株式会社 実業公報社	出版事業部